平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月14日

上場会社名　ヤーマン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6630　URL　http://www.ya-man.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山崎　貴三代
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 宮崎　昌也　TEL 03-5665-7330
四半期報告書提出予定日　平成23年12月14日　配当支払開始予定日　平成24年1月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	10,639	5.7	1,162	29.6	1,187	30.8	670	33.2
23年4月期第2四半期	10,066	5.9	897	△1.4	907	6.8	503	9.6

(注)包括利益　24年4月期第2四半期　665百万円　(33.0%)　23年4月期第2四半期　500百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	114.88	—
23年4月期第2四半期	172.53	—

23年4月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は、平成23年3月1日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	11,936	6,261	52.5
23年4月期	11,381	5,703	50.1

(参考) 自己資本　24年4月期第2四半期　6,261百万円　23年4月期　5,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	23.00	—	18.50	41.50
24年4月期	—	18.00			
24年4月期(予想)			—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無
23年4月期の中間配当は、平成23年3月1日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,020	12.0	2,017	16.9	1,939	14.1	1,113	18.3	190.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、（添付資料）4ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項 （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年4月期2Q	5,834,888 株	23年4月期	5,834,888 株
② 期末自己株式数	24年4月期2Q	116 株	23年4月期	116 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年4月期2Q	5,834,772 株	23年4月期2Q	2,917,399 株

（注）平成23年３月１日付で、普通株式１株につき２株の割合をもって株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算説明会の内容の入手方法）

当社は、平成23年12月16日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び配布資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

（参考）株式分割に伴う１株当たり数値の遡及修正

平成23年３月１日付で普通株式１株につき２株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割が前連結会計年度の開始の日（平成22年５月１日）に行われたと仮定した場合の１株当たり情報は、以下のとおりであります。

１．１株当たり四半期純利益

（連結）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 １株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年４月期第２四半期	114.88	―
23年４月期第２四半期	86.26	―

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年４月期	―	11.50	―	18.50	30.00
24年４月期	―	18.00			
24年４月期（予想）			―	18.00	36.00

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．３

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・Ｐ．４
(2)　追加情報　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．５

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・Ｐ．７
　四半期連結損益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７
　四半期連結包括利益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．８
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９
(4)　セグメント情報　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・Ｐ．10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年５月１日　至　平成23年10月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に、一部回復の兆しが見られたものの、円高の長期化や平成23年３月に発生した東日本大震災による影響も懸念され、依然として先行きの不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは、消費者ニーズが本格的に高まるシーズンが到来した脱毛器「no!no!HAIR」シリーズが店販部門を中心に売上伸長に貢献した他、手頃な価格のセット販売による新規顧客の獲得と既存顧客への継続フォローによるリピート戦略により引き続き堅調に推移している化粧品「オンリーミネラル」シリーズも寄与し、前年同期実績を上回る売上高を達成いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は10,639百万円（前年同期比5.7％増）、経常利益は1,187百万円（前年同期比30.8％増）、四半期純利益は670百万円（前年同期比33.2％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

ショッピングチャンネルでの取り扱いが靴やバッグ等のアパレル系アイテムを中心に堅調に推移した他、新製品の痩身アイテム「アセチノセルビー」が地上波通販で好調だったことから、売上高は3,664百万円（前年同期比7.8％増）、セグメント利益は1,367百万円（前年同期比10.8％増）となりました。

②店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

昨年度から大きく売り上げを牽引している脱毛器「no!no!HAIR」シリーズについて、この春よりリニューアル版を投入し更に売り上げが伸長したこと、大手百貨店での店舗展開も好調であった化粧品「オンリーミネラル」シリーズが引き続き堅調に推移したことから、売上高は3,710百万円（前年同期比3.9％増）、セグメント利益は1,760百万円（前年同期比16.9％増）となりました。

③直販部門

直販部門では、インフォマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

化粧品「オンリーミネラル」シリーズが、リピート購入に支えられ非常に好調に推移しましたが、中長期戦略として地上波テレビや女性誌を中心に積極的に広告支出を行ったことから、売上高は3,176百万円（前年同期比9.1％増）、セグメント損失は65百万円となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ554百万円増加し、11,936百万円となりました。現金及び預金の増加694百万円、受取手形及び売掛金の減少535百万円、商品及び製品の増加86百万円、原材料及び貯蔵品の増加240百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ３百万円減少し、5,674百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加498百万円、社債の減少95百万円、長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）の減少462百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ557百万円増加し、6,261百万円となりました。四半期純利益の計上670百万円及び剰余金の配当107百万円による利益剰余金の増加562百万円が主な要因であります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期以降につきましては、通年で堅調に売り上げを支える化粧品「オンリーミネラル」シリーズに引き続き注力するとともに、スチーマー「うるおいステーション」やプラチナゲルマローラーの進化版である「フェイササイズＵＰ」等の新製品を中心に、各広告媒体で積極的にプロモーションを行っていく予定です。

なお、平成23年４月期決算発表時（平成23年６月14日）に公表した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月１日　至　平成23年10月31日）
税金費用の計算 税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2)　追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,119,003	3,813,712
受取手形及び売掛金	3,127,098	2,591,336
有価証券	50,037	50,053
商品及び製品	3,543,346	3,629,413
仕掛品	5,794	66,494
原材料及び貯蔵品	314,850	555,644
その他	209,726	231,074
貸倒引当金	△27,524	△4,178
流動資産合計	10,342,332	10,933,552
固定資産		
有形固定資産	556,788	560,185
無形固定資産	340,287	315,958
投資その他の資産	141,708	126,311
固定資産合計	1,038,783	1,002,454
資産合計	11,381,115	11,936,006
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,348,763	1,847,320
1年内返済予定の長期借入金	752,911	549,984
1年内償還予定の社債	190,000	190,000
未払金	1,340,333	1,292,385
未払法人税等	389,515	525,862
賞与引当金	25,000	25,000
返品調整引当金	129,744	120,634
その他	108,026	93,808
流動負債合計	4,284,295	4,644,996
固定負債		
社債	195,000	100,000
長期借入金	1,158,630	899,480
その他	39,410	29,821
固定負債合計	1,393,041	1,029,302
負債合計	5,677,336	5,674,298

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年10月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	2,575,424	3,137,801
自己株式	△100	△100
株主資本合計	5,702,915	6,265,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	△1,687
繰延ヘッジ損益	△105	△1,896
その他の包括利益累計額合計	863	△3,584
純資産合計	5,703,779	6,261,708
負債純資産合計	11,381,115	11,936,006

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年５月１日 至　平成22年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月１日 至　平成23年10月31日）
売上高	10,066,322	10,639,544
売上原価	4,041,671	4,112,722
売上総利益	6,024,651	6,526,821
返品調整引当金戻入額	140,676	129,744
返品調整引当金繰入額	112,774	120,634
差引売上総利益	6,052,552	6,535,931
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,665,742	2,908,601
給料及び手当	297,383	296,407
賞与引当金繰入額	25,000	25,000
減価償却費	27,949	45,421
研究開発費	82,360	63,313
その他	2,056,662	2,034,307
販売費及び一般管理費合計	5,155,098	5,373,051
営業利益	897,453	1,162,879
営業外収益		
受取利息	2,548	636
受取配当金	116	444
為替差益	47,152	16,048
貸倒引当金戻入額	－	23,346
保険解約返戻金	－	19,136
その他	4,643	7,578
営業外収益合計	54,461	67,191
営業外費用		
支払利息	30,938	28,968
支払保証料	1,877	9,123
その他	11,571	4,795
営業外費用合計	44,388	42,886
経常利益	907,527	1,187,184
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,724	－
特別利益合計	4,724	－
特別損失		
固定資産除却損	5,983	3,775
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,937	－
特別損失合計	13,920	3,775
税金等調整前四半期純利益	898,330	1,183,408
法人税等	394,999	513,088
少数株主損益調整前四半期純利益	503,331	670,320
四半期純利益	503,331	670,320

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年５月１日 至　平成22年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月１日 至　平成23年10月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	503,331	670,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△687	△2,657
繰延ヘッジ損益	－	△1,791
為替換算調整勘定	△2,045	－
その他の包括利益合計	△2,732	△4,448
四半期包括利益	500,598	665,872
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,598	665,872
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　セグメント情報

Ⅰ．前第２四半期連結累計期間（自　平成22年５月１日　至　平成22年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,399,400	3,571,027	2,911,406	9,881,834	184,488	10,066,322	－	10,066,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	135,691	135,691	△135,691	－
計	3,399,400	3,571,027	2,911,406	9,881,834	320,179	10,202,014	△135,691	10,066,322
セグメント利益	1,234,112	1,505,910	79,756	2,819,780	74,472	2,894,252	△1,996,798	897,453

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,996,798千円には、セグメント間取引消去6,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,000,269千円及び棚卸資産の調整額△2,529千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ．当第２四半期連結累計期間（自　平成23年５月１日　至　平成23年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,664,941	3,710,679	3,176,396	10,552,017	87,527	10,639,544	－	10,639,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	117,155	117,155	△117,155	－
計	3,664,941	3,710,679	3,176,396	10,552,017	204,682	10,756,699	△117,155	10,639,544
セグメント利益又は損失（△）	1,367,921	1,760,734	△65,473	3,063,182	43,892	3,107,075	△1,944,195	1,162,879

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,944,195千円には、セグメント間取引消去6,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,950,195千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年５月１日　至　平成23年10月31日）

該当事項はありません。